

**製品名: エピレグリンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10544**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	EREG
別名	Proepiregulin [Cleaved into: Epiregulin (EPR)]
遺伝子 ID	2069.0
SwissProt ID	O14944
免疫原	AA 範囲: 71-120 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

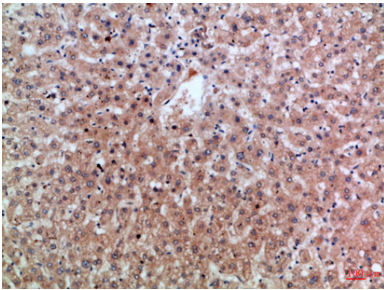
この遺伝子は、分泌ペプチドホルモンであり、上皮成長因子（EGF）ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、上皮成長因子受容体（EGFR）および構造的に関連する erb-b2 受容体チロシンキナーゼ 4（ERBB4）のリガ

ンドです。コードされているタンパク質は、炎症、創傷治癒、卵母細胞成熟、細胞増殖など、幅広い生物学的プロセスに関与している可能性があります。さらに、コードされているタンパク質は、様々なヒト組織の癌の進行を促進する可能性があります。[RefSeq 提供、2015年7月]機能: 局所的な細胞増殖のメディエーターである可能性があります。マイトジェンとして、細胞増殖および/または血管新生を刺激する可能性があります。類似性: 1つのEGF様ドメインを含みます。組織特異性: 正常成人では、主に胎盤および末梢白血球で発現します。膀胱癌、肺癌、腎臓癌、結腸癌で高レベルが検出されました。

## 研究分野

エルブ B\_HER;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は1:100に希釈された